

（２）長野県山岳総合センター研修講座

2024（令和６）年度 研修講習一覧

実施月	講習名	日程						定員	内容
4	Mountain Salon 4 月	4月1日	（月）	～	4月1日	（月）	1日	4	登山とクライミングのビギナー向けプライベート講習。4 月は体験ロープクライミングを 2 回開催した。参加者は 4 名。個人のレベルに合わせた指導を行った。
	わいわいボルダリング教室①	4月10日	（水）	～	4月10日	（水）	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。第 1 回目は A クラス 8 名、B クラス 12 名の参加があった。A クラスで 1 名欠席した。初回ということで少し緊張していた様子だったが、終盤には皆楽しく登っていた。
	シニア安全登山教室①	4月18日	（木）	～	4月18日	（木）	1日	15	シニア世代の方が、「安全に・楽しく・元気に」登山を実践するための知識や技術を身に着ける昨年度から始まった教室。今年度の 5 回シリーズの 1 回目は、地元の鷹狩山に登りながら、服装や装備、歩き方の基本といった、安全登山の知識や技術の基本を学んだ。教室の後半では、「信州山岳アカデミー」も同時開催され、県警山岳遭難救助隊母袋副隊長のお話を聴講した。
	ヤマの地質学、入門！2024	4月20日	（土）	～	4月21日	（日）	2日	15	地質学者の原山智先生（信州大学名誉教授）を講師に、山の成り立ちを地質学からひも解く「山の地質学シリーズ」を今年も全 5 回で開催。1 回目は大町市内及びセンターで、山を形作る岩石とその分類について学んだ。受講者は、昨年度からきている方に加え、初参加の方も増えて、定員を上回る 20 名が参加。今回も、非常に好評であった。
	わいわいボルダリング教室②	4月24日	（水）	～	4月24日	（水）	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。第 1 回目は A クラス 9 名、B クラス 12 名の参加があった。A クラスの生徒も徐々に慣れてきた様子。B クラスの生徒のレベルも上がり登れるグレードも上がってきた。
5	Mountain Salon 5 月	5月1日	（水）	～	5月1日	（水）	1日	4	登山とクライミングのビギナー向けプライベート講習。5 月はステップアップレッスン（ボルダリング）を 1 回開催し、1 人の参加者があった。外岩でのロープクライミングのステップアップを目標に日々のボルダリングの練習で出来るトレーニング方法などを実施した。
	わいわいボルダリング教室③	5月8日	（水）	～	5月8日	（水）	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。3 回目は A クラス 12 名、B クラス 8 名の参加があった。チェックシートを配り、ルートが登れたらシールが貼れるシステムにした。皆シールを貼るためにルートをクリアしようと頑張っていた。
	マルチピッチクライミング教室①	5月11日	（土）	～	5月11日	（土）	1日	16	講習会は人工岩場の利用停止に伴い中止。講師に協力してもらいロープワークなどの技術系動画の素材撮影を行った。近日中に編集し YouTube に公開する予定。
	マルチピッチクライミング教室②	5月12日	（日）	～	5月12日	（日）	1日	16	講習会は人工岩場の利用停止に伴い中止。講師に協力してもらいロープワークなどの技術系動画の素材撮影を行った。近日中に編集し YouTube に公開する予定。
	信州山岳アウトドア研修①in 針ノ木雪渓	5月15日	（水）	～	5月15日	（水）	1日	15	登山者と接する機会の多いアウトドアショップスタッフと長野県山岳総合センター職員が、情報共有や基本的な登山技術・知識を相互に学ぶ。今回は針ノ木雪渓で残雪期登山の装備やレイヤリング、雪上歩行技術などを実践を通して学んだ。参加者は 6 名。
	シニア安全登山教室②	5月16日	（木）	～	5月16日	（木）	1日	15	シニア世代の方が、「安全に・楽しく・元気に」登山を実践するための知識や技術を身に着ける昨年度から始まった教室。今年度の 5 回シリーズの 2 回目は、美ヶ原で開催。あいにく朝から雨で、雨が止むまでは美ヶ原自然保護センター内で読図の話を聞いた。雨が止んだ午後からは、午前中学んだことを登山道上で実践した。登山アプリの使い方も学んだ。
	わいわいボルダリング教室④	5月22日	（水）	～	5月22日	（水）	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。4 回目は A クラス 11 名、B クラス 8 名の参加があった。グループに分かれて、皆で協力して一つのルートを作成する遊びを行った。それぞれレベルが違う中で皆が登れるように工夫しながら作っていた。
	登山の引率 はじめの一步 ～学校登山引率者向け～	5月23日	（木）	～	5月23日	（木）	1日	15	県総合教育センター学校体育と合同開催した教職員向けの研修講座。児童生徒にとって楽しく安全な学校登山の知識や技術を、講義及び鷹狩山登山 (1,164m) を通して学んだ。当日は天気にも恵まれ、鷹狩山の頂上からは槍ヶ岳の穂先も望むこともできた。
	マルチピッチクライミング教室③	5月25日	（土）	～	5月25日	（土）	1日	16	講習会は人工岩場の利用停止に伴い中止。講師に協力してもらいロープワークなどの技術系動画の素材撮影を行った。近日中に編集し YouTube に公開する予定。
	マルチピッチクライミング教室④	5月26日	（日）	～	5月26日	（日）	1日	16	講習会は人工岩場の利用停止に伴い中止。講師に協力してもらいロープワークなどの技術系動画の素材撮影を行った。近日中に編集し YouTube に公開する予定。

6	Mountain Salon 5 月	6月1日	(土)	～	6月1日	(土)	1日	4	登山とクライミングのビギナー向けプライベート講習。6 月はスキルアップレッスン（ボルダリング）を 1 回開催した。動きの癖を直したり、基本的なムーブを練習したり、受講生の目的に合わせて指導を行った。
	A1「すごいぞ！信州の山シリーズ」① 身近な春の使者・野鳥を観察しよう！	6月9日	(日)	～	6月9日	(日)	1日	15	今年度 1 回目となる、大人も子どもも参加できる自然観察講座。戸隠森林植物園での、野鳥観察講座を長野県山岳協会・自然保護委員会との共催で実施した。センターの参加者10名（うち 1 名子ども）と、協会から 4 名の参加があり、合計14名で楽しく野鳥を観察できた。確認できた野鳥の種類は30種類。野鳥以外にも、植物の解説などもあり、参加者は春の戸隠高原をしっかりと楽しむことが出来たようだった。
	わいわいボルダリング教室⑤	6月12日	(水)	～	6月12日	(水)	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。5 回目はAクラス 9 名、Bクラス 10名の参加があった。2 名が欠席した。新しくセットされたルートに皆で取り組んだ。子ども向けにルートを用意したので、登れるルートも多く、いつもより楽しんでいた。
	リーダーコース修了者フォローアップ講習①	6月15日	(土)	～	6月15日	(土)	1日	12	リーダーコース修了者向けにロープワークなどを復習し、更なるスキルアップを目指した。受講生は14名。2017年～2023年までの修了者が参加した。講習は鉢ノ峰の仏崎周辺で行った。内容は簡易ハーネス、懸垂下降、ローダウン、フィックスロープ、引き上げなどを行った。
	スキルアップ研修会（岩登り）	6月16日	(日)	～	6月16日	(日)	1日	20	アルパインクライミング、スポーツクライミングをしている方を対象にクライミング中のトラブルに対処する技術を学んだ。はじめに机上でこれまで経験したトラブルや対処方法について話し合った。その後は講堂で、ビレイ中の自己脱出と、懸垂下降からの登り返しの技術的な研修を行った。それぞれ、技術の差や考え方の違いがあるが、より安全な方法を考えるいい機会となった。
	わいわいボルダリング教室⑥	6月26日	(水)	～	6月26日	(水)	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。6 回目はAクラス 5 名、Bクラス 12名の参加があった。4 名が欠席した。Aクラスの人数が少なかったが、その分いつもより沢山登る時間が確保できた。Bクラスではチェックシートに取り組んだ。
7	オンラインで学ぼう！安全な夏山登山	6月27日	(木)	～	6月27日	(木)	1日	30	主に登山初心者向けに、本格的な夏山シーズンを前に、安全に山を楽しんでもらう目的で、オンラインの登山講座を開催。山岳救助隊の母袋副隊長に、「山岳遭難の現場から」と題し、最近の遭難傾向や遭難事故の実例から、遭難当事者にならないためのポイントなどについて伺いした。県内外から配信中にのべ492名の聴講があり、最大同時視聴者数としては155名。ライブでの視聴者数としては200名程度と思われる。その後、動画を配信したところ、公開後 1 週間で1000回を超える再生があり、オンラインと後日配信のハイブリッドでの動画公開の効果を感じている。
	Mountain Salon 7 月	7月1日	(月)	～	7月1日	(月)	1日	4	登山とクライミングのビギナー向けプライベート講習。7 月はスキルアップレッスン（ボルダリング）を 2 回開催した。コンペへの対策や日々のトレーニング方法、動きの癖を直したり、基本的なムーブを練習したり、受講生の目的に合わせて指導を行った。
	夏山基礎	7月6日	(土)	～	7月7日	(日)	2日	15	参加者が催行人数に達しなかったため中止。
	わいわいボルダリング教室⑦	7月10日	(水)	～	7月10日	(水)	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。7 回目はAクラス 8 名、Bクラス 10名の参加があった。3 名が欠席した。長物にチャレンジした。チェックシートを配り、出来たところまでシールを張った。
	シニア安全登山教室③	7月12日	(金)	～	7月12日	(金)	1日	15	シニア世代の方が、「安全に・楽しく・元気に」登山を実践するための知識や技術を身に着ける昨年度から始まった教室。今年度の 5 回シリーズの 3 回目は、浅間連峰で開催。あいにく朝から雨で、黒斑山まで登るのをあきらめ、槍ヶ鞘までを往復した。下山後は、登山口にあるビジターセンターで、講師から「信州の山を安全に楽しく登るために」という内容のお話を聞いた。「信州山のグレーディング」の使い方の説明もあった。
	日本を縦断！中央構造線を知ろう！	7月20日	(土)	～	7月21日	(日)	2日	15	原山智先生を講師に招き、地質学を学ぶ講座の今年度第 2 回目は、題材として初めて中央構造線を取り上げた。大鹿村の中央構造線博物館と、飯田市美術博物館、そして露頭を 1 か所まわり、中央構造線の成り立ちや特徴について考え、理解を深めた。地質学講座としては初の南信開催となり、近隣の方も参加してくださった。参加者計24名で、にぎやかに開催することができた。
	わいわいボルダリング教室⑧	7月24日	(水)	～	7月24日	(水)	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。8回目はAクラス8名、Bクラス 10名の参加があった。3名が欠席した。Bクラスでは登った数とグレードでポイントを競うチーム戦を行った。いつもより真剣に取り組んでいた。

7	教室①「親子スポーツクライミング教室」	7月27日	(土)	～	7月27日	(土)	1日	12	人工岩場使用禁止のため、中止にした。
	信州の山で学ぼう～乗鞍岳　～3,026m～	7月31日	(水)	～	7月31日	(水)	1日	30	教職員及び地域のスポーツ指導者等が、学校登山でよく登られている北アルプス乗鞍岳（3,026m）を登山することで、登山の基礎的知識や技能を実践的に身につけ、併せて、乗鞍岳周辺の地形や動植物について学び、体育・スポーツ指導者としての資質の向上を図る目的で開催。39名の教職員の方の参加があった。
8	Mountain Salon 8月	8月1日	(木)	～	8月1日	(木)	1日	4	登山とクライミングのビギナー向けプライベート講習。8月はステップアップレッスン（ボルダリング）を1回開催した。参加者は1名。個人のレベルに合った登り方のコツや今後のトレーニングの指導などを行った。
	教室②「たかがりキッズキャンプ」	8月3日	(土)	～	8月4日	(日)	2日	12	小学生を対象に1泊2日で登山や自然観察などのアウトドアアクティビティを体験するキャンプを実施。参加者は募集人員を上回る19名で、県外からの参加もあった。1日目は鷹狩山登山、カレー作り、ボルダリング体験、2日目は農具川周辺で水辺の生き物探しを行った。子どもたちも、大変楽しんでくれた様子であった。
	教室③「親子クライミングキャンプ」	8月24日	(土)	～	8月25日	(日)	2日	25	センター初の外岩でのボルダリング体験を組み込んだ1泊2日のキャンプで、「わいわいボルダリング教室」の子どもと保護者を対象に募集した。21名の参加申し込みがあったが、前日から3日にわたり悪天候予報のため、中止とした。
	わいわいボルダリング教室⑨	8月28日	(水)	～	8月28日	(水)	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。9回目はAクラス9名、Bクラス11名の参加があった。1名が欠席した。夏休み期間中だったため久しぶりの開催だったが、多くの参加者があった。教室ではマンスリールートを楽しんだ。
	A2「すごいぞ！信州の山シリーズ」② 山岳都市・おおまの歴史入門！	8月31日	(土)	～	8月31日	(土)	1日	12	山岳都市としての大町市の歴史に迫る、座学講座。市立山岳博物館学芸員の関さんを講師に招き、広く市民向けに無料公開講座として実施。台風の影響が懸念されたが、15名の参加があった。講演の様子は、後日山岳センターのYouTubeチャンネルでも紹介予定。
9	Mountain Salon 9月	9月1日	(日)	～	9月1日	(日)	1日	4	登山とクライミングのビギナー向けプライベート講習。9月は申込みが無かったため開催しなかった。
	教室④「湯股の自然を楽しもう」	9月1日	(日)	～	9月1日	(日)	1日	12	春に発生した大規模な落石の影響で、当初目的地に予定していた湯俣から八方池に変更して募集をしたが、参加者が集まらなかったため中止とした。
	高校山岳部登山研修会	9月7日	(土)	～	9月8日	(日)	2日	15	高校山岳部に在籍している生徒が登山の知識、技術を更に深めるとともに、交流会を通して他校の山行や日々の部活動の様子などの情報交換を行う。今回は3校から16名の参加があった。講習では山行計画やツェルトの立て方、応急処置などを行った。
	わいわいボルダリング教室⑩	9月11日	(水)	～	9月11日	(水)	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。10回目はAクラス7名、Bクラス7名の参加があった。7名が欠席した。参加者が少なかったので、1人1人はいつもより集中して沢山登ることができた。
	シニア安全登山教室④	9月20日	(金)	～	9月20日	(金)	1日	15	シニア世代の方が、「安全に・楽しく・元気に」登山を実践するための知識や技術を身に着ける昨年度から始まった教室。今年度の5回シリーズの4回目は、飯田市の風越山の前山「虚空蔵山」で開催。標高差500mを登る「登山体力セルフチェック」を実施して、各自の登山体力を測定した。また、登山中のトラブルの防止と対処法についても学んだ。飯田市や伊那市の方含めて、16名の参加があった。
	わいわいボルダリング教室⑪	9月25日	(水)	～	9月25日	(水)	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。11回目はAクラス9名、Bクラス10名の参加があった。2名が欠席した。前期の最終回という事もあり。参加者は多かった。教室では前期のまとめとしてチーム戦を行った。

10	危急時対応とビバーク技術	10月5日	(土)	～	10月6日	(日)	2日	30	夏山登山経験者が、危急時対応の仕方（応急処置やロープワーク）を、山でツェルトを利用したビバーク泊登山を通して学ぶ。ハヶ岳の黒百合ヒュッテおよび天狗岳周辺で開催した。15名の参加があった。当日は雨が時折降り、厳しい環境ではあったが、実践に近い形でツェルト泊を体験することができた。
	Mountain Salon 10月	10月1日	(火)	～	10月1日	(火)	1日	4	登山とクライミングのビギナー向けプライベート講習。10月は申込みが無かったため開催しなかった。
	信州山岳アウトドア研修②in物見の岩場	10月16日	(水)	～	10月16日	(水)	1日	15	登山者と接する機会の多いアウトドアショップスタッフと長野県山岳総合センター職員が、情報共有や基本的な登山技術・知識を相互に学ぶ。今回は長野市の物見岩で自然の岩場でのクライミングを体験した。参加者は14名、4ブランド、6店舗からご参加いただいた。クライミングの登り方、確保の仕方、支点構築はもちろん岩場でクライミングをする時のルールやマナーについても共有することが出来た。
	わいわいボルダリング教室⑫	10月16日	(水)	～	10月16日	(水)	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。12回目はAクラス12名、Bクラス12名の参加があった。後期最初のクラスという事で新しく8名が加入した。特にAクラスでは年長児や初めての子が多く、雰囲気も変わり、以前からいた子たちには良い刺激になっている。
	鬼無里にゃ鬼もゾウもいる！？	10月19日	(土)	～	10月20日	(日)	2日	15	原山智先生を講師に招き、地質学を学ぶシリーズ全5回の第3回は、去年に引き続き、戸隠地質化石博物館ともコラボし、長野県北部のフォッサマグナと裾花川が長野地域をどう形作ったか、鬼無里地区の露岩の巡検も行いながら、二日間にわたって行った。当日は県内外より16名の参加があり、現地では主に地質館の田辺さん、座学では原山先生の解説に、熱心に耳を傾けていた。
	シニア安全登山教室⑤	10月23日	(水)	～	10月23日	(水)	1日	15	天気が良くなかったため、中止とした。
	地図読み講習会（初級）	10月26日	(土)	～	10月26日	(土)	1日	15	地図読みの初級者向け講習会。一般登山者向けに、読図の基本的な知識と技術を取得できることを目的に実施した。今回は日本オリエンテーリング協会と共催という形をとり、同協会の認定する「ブロンズ」という級を取得できることとした。静岡大学から村越真教授が来てくださり、分かりやすい説明で、参加者の理解も大変良かった。
	A3「すごいぞ！信州の山シリーズ」③ 信州の昆虫を食べよう！	10月30日	(水)	～	10月30日	(水)	1日	15	秋の野鳥、特に北方から渡ってきて、日本で越冬する「冬鳥」の観察を目的に実施。戸隠地域に飛来するムギマキ、マミチャジナイが見られることを期待したが、当日は両方を観察することが出来て、参加者の皆さんも喜んでいた。
	わいわいボルダリング教室⑬	10月30日	(水)	～	10月30日	(水)	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。13回目はAクラス10名、Bクラス11名の参加があった。Aクラスの子も少しずつ慣れてきた。教室ではチェックシートに取り組んだ。
11	Mountain Salon 11月	11月1日	(金)	～	11月1日	(金)	1日	4	登山とクライミングのビギナー向けプライベート講習。11月は申込みが無かったため開催しなかった。
	わいわいボルダリング教室⑭	11月13日	(水)	～	11月13日	(水)	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。14回目はAクラス11名、Bクラス12名の参加があった。Aクラスの生徒も慣れてきたので、Bクラスと同じ内容（トラバースじゃんけんなど）を少し取りいれてみた。ルール等も少しづつ覚えてきている。
	リーダーコース修了者フォローアップ講習②	11月16日	(土)	～	11月16日	(土)	1日	12	リーダーコース修了者向けに危急時の搬送技術などを復習し、更なるスキルアップを目指す。今回は申し込みが少なかったため中止した。
	スキルアップ研修会（危急時対策）	11月17日	(日)	～	11月17日	(日)	1日	20	危急時の搬送技術、ロープレスキューとその指導法について実践的に研修する。前半は技術の確認と検討を行い午後はシチュエーショントレーニングを行った。参加者のレベルも高く有意義な研修会となった。
	浅間山の成り立ちを学ぶ	11月23日	(土)	～	11月24日	(日)	2日	15	原山智先生を講師に招き、地質学を学ぶ講座の今年度第4回目。今回は、火山・浅間山をテーマに、長野県側・群馬県側の双方から地質と、山と人との関わりについて学んだ。1日目は長野県側で3ヵ所の地質観察、2日目は群馬県側で博物館で浅間山火山災害の歴史を学び、1ヵ所で地質観察を行った。
	わいわいボルダリング教室⑮	11月27日	(水)	～	11月27日	(水)	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。14回目はAクラス9名、Bクラス12名の参加があった。Aクラスは各々目標の課題に取り組み、Bクラスはチーム戦などを実施した。
	三戸呂さん講演会	11月9日	(土)	～	11月9日	(土)	1日	16	高校山岳部で活動する生徒が、山岳部の先輩方や他校の生徒たちとの交流を図り、日々の活動をさらに充実したものとする事と目的に開催。（当初一般向けにオンラインでの開催を予定したが、三戸呂さんからぜひ若い方に、というご提案があり、対面で高校生向けに変更したもの。）参加者は、4校、計21名。

12	Mountain Salon 12月	12月1日	(日)	～	12月1日	(日)	1日	4	登山とクライミングのビギナー向けプライベート講習。12月は申込みが無かったため開催しなかった。
	わいわいボルダリング教室⑩	12月4日	(水)	～	12月4日	(水)	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。Aクラス12名、Bクラス10名の参加があった。Aクラスはそれぞれの目標ルートに登ったらシールを貼ることで、モチベーションも上がっている。経験者の多いBクラスは、ゲームなどを実施した。
	オンラインで学ぼう！安全な冬山登山	12月5日	(木)	～	12月5日	(木)	1日	12	雪山登山を安全に楽しむために、その対策について学ぶオンライン講座。講師は県警山岳救助隊の藤澤さんを講師にお招きし、1時間にわたって、冬山遭難事例の紹介とそこから学べる安全登山のポイントについてお話を伺った。配信中の同時最大視聴者数は158名。その後、YouTubeで公開し現在、総再生回数は4,180回を超えた（2025.1現在）。
	わいわいボルダリング教室⑪	12月18日	(水)	～	12月18日	(水)	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。Aクラス10名、Bクラス11名の参加があった。2か月経ってAクラス、Bクラスとも、だいぶ慣れてきた様子で、仲間意識も醸成され、お互いを気遣いながら応援する様子なども見られるようになった。
1	Mountain Salon 1月	1月1日	(水)	～	1月1日	(水)	1日	4	登山とクライミングのビギナー向けプライベート講習。 1月は申込みが無かったため開催しなかった。
	わいわいボルダリング教室⑫	1月8日	(水)	～	1月8日	(水)	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。Aクラス10名、Bクラス11名の参加があった。Aクラス、Bクラスとも、だいぶ慣れてきた様子で、仲間意識も醸成され、お互いを気遣いながら応援する様子なども見られるようになった。
	A4「すごいぞ！信州の山シリーズ」④ 信州の冬の使者・渡り鳥を観察しよう！	1月18日	(土)	～	1月18日	(土)	1日	15	コハクチョウの飛来地として有名な「御宝田遊水池」で、冬ならではの渡り鳥を中心とした野鳥観察会を行った。カモ類を中心に、期待以上の39種類の鳥類が観察でき、講師からその特徴などの説明もあって、参加者も非常に楽しんでいた。今後も、気軽に参加できる講習会を、県内各所で実施していきたい。
	わいわいボルダリング教室⑬	1月22日	(水)	～	1月22日	(水)	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。Aクラス10名、Bクラス11名の参加があった。Aクラス、Bクラスとも、だいぶ慣れてきた様子で、仲間意識も醸成され、お互いを気遣いながら応援する様子なども見られるようになった。
2	AvSAR基礎コース	1月25日	(土)	～	1月25日	(土)	1日	16	雪崩対策装備の重要性や雪崩捜索救助の全体の流れを理解し、大規模な現場で要員として動ける様になる事を目的として、日本雪崩ネットワークと共同で開催した。参加者は15名。午前中は座学中心に行い、午後は屋外で装備の使い方や救助のシナリオトレーニングなどを行った。
	Mountain Salon 2月	2月1日	(土)	～	2月1日	(土)	1日	4	登山とクライミングのビギナー向けプライベート講習。 2月は申込みが無かったため開催しなかった。
	セイフティーキャンプ with日本雪崩ネットワーク	2月1日	(土)	～	2月2日	(日)	2日	16	雪崩への理解を深め、行動マネジメントによる雪崩リスク軽減を目的とした、JAN(日本雪崩ネットワーク)と共同開催の講習会。滑走者コース・登山者コースに分かれて、8人ずつの参加者があった。座学で雪崩の基礎知識を学んだ後、実技では実際に山に登って、雪崩地形の実際や安全なルートどりを確認した。
	わいわいボルダリング教室⑭	2月5日	(水)	～	2月5日	(水)	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。Aクラス10名、Bクラス11名の参加があった。Aクラス、Bクラスとも、だいぶ慣れてきた様子で、仲間意識も醸成され、お互いを気遣いながら応援する様子なども見られるようになった。
	教室⑤「雪のたかがり山ハイク！」	2月15日	(土)	～	2月15日	(土)	1日	12	コハクチョウの飛来地として有名な「御宝田遊水池」で、冬ならではの渡り鳥を中心とした野鳥観察会を行った。カモ類を中心に、期待以上の39種類の鳥類が観察でき、講師からその特徴などの説明もあって、参加者も非常に楽しんでいた。安曇野市内で野外活動講座を実施したのは初。今後も、気軽に参加できる講習会を、県内各所で実施していきたい。
	わいわいボルダリング教室⑮	2月19日	(水)	～	2月19日	(水)	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。Aクラス10名、Bクラス11名の参加があった。Aクラス、Bクラスとも、だいぶ慣れてきた様子で、仲間意識も醸成され、お互いを気遣いながら応援する様子なども見られるようになった。

2	雪山基礎	2月22日	(土)	～	2月23日	(日)	2日	10	雪山テント泊登山における登山技術（ラッセル、雪山テント泊、雪洞構築、雪崩対策装備の使い方等）を学ぶ講習会。今年度初めて企画した講座で、参加者は最終的には7名だった。講習当日は天候に恵まれ、1日目はテント設営技術及びテント生活について、2日目は危急時における雪洞構築及び雪崩捜索装備の操作方法について実践的に学んだ。
3	Mountain Salon 3月	3月1日	(土)	～	3月1日	(土)	1日	4	登山とクライミングのビギナー向けプライベート講習。 3月は申込みが無かったため開催しなかった。
	もっと知りたい！山の地質学！！	3月8日	(土)	～	3月9日	(日)	2日	15	山の地質について学ぶシリーズの第5回目。今年度最終回として、少しレベルアップした内容として、岩石を形作る元素についての講義を受け、実際に岩石のサンプルを標本化するというところを行った。9種類の岩石について、顕微鏡を用いて観察しながら、その特性などをより深く理解する機会となった。
	わいわいコンペ	3月15日	(土)	～	3月15日	(土)	1日	20	年長児、小学生対象のボルダリング教室。後期の最終回はコンペを行った。参加者は20名。予選で8ルートを登り、ポイントの高い上位5名で決勝を行った、決勝は2ルートをオンサイトで登り順位を決めた。普段とは違う教室で良い緊張感の中後期のまとめができた。